

「小・中学校の連携を通し、豊かな心をはぐくむ道德教育の推進」
～生命を尊重し、よりよい生き方を考える児童・生徒の育成を目指して～

I 主題設定の理由

塩山北中ブロックでは、昨年度から3年間の小中連携道德教育推進事業の指定を受けており、2年目になる今年度は、さらに道德教育を推進していくための交流・連携の強化をしていきたいと考え、4校の共通テーマである本主題を設定した。

II 研究の具体的内容

1 道德教育についての学習会（第1回の内容）

- (1) 目的 小中で道德教育を進めていく上での共通理解を図る。
- (2) 日時 8月13日（水） 午後1時30分～4時30分
- (3) 内容
 - ・各校の実践状況の報告を行った。
 - ・4校がそれぞれ授業研究部会、実践研究部会の2部会に分かれて2学期以降の研究内容と計画について話し合いを持った。
 - ・義務教育課菟原桂指導主事、峡東教育事務所一之宮英文主幹指導主事、小林誠一指導主事を招いて道德教育についての学習会を開いた。

2 授業公開（第2回の内容）

- (1) 目的 一つの小学校の授業を中学校と他校の小学校の教職員が参観して、道德の授業の進め方、児童の様子について授業後意見交換、情報交換をし、4校の研究を検証し、共通理解を図る。
- (2) 日時 11月5日（水） 午後2時～5時
- (3) 内容 大藤小学校の道德の授業（めざす子ども像にそった内容の授業）を小中の教職員が参観し、授業後研究会を行った。

①授業参観（午後2時～2時45分） 峡東教育事務所一之宮英文主幹指導主事

小林誠一指導主事

- ・第1学年道德 金井京子教諭 「大切な命」（生命尊重）
- ・第4学年道德 町田信次教諭 「ふるさとのよさ」（郷土愛）

②研究会（午後3時～5時）

- ・大藤小の研究について実施状況と方向性確認
- ・1年4年の授業について意見交換
- ・10月29日に行った中学校の道德の授業公開について意見交換

2 授業公開（第3回の内容）

- (1) 目的 2つの小学校の授業を教職員が参観して、道德の授業の進め方、児童の様子について授業後意見交換、情報交換をし、研究を検証し共通理解を図る。

(2) 日時 1月14日(水) 午後2時～5時

(3) 内容 玉宮小学校, 神金小学校の道徳の授業(めざす子ども像にそった内容の授業)を小中の教職員が参観し, 授業後研究会を行った。

①授業参観(午後2時～2時45分)

ア玉宮小学校 峡東教育事務所一之宮英文主幹指導主事, 小林誠一指導主事

・第3学年道徳 三森敏彦教諭 「相手の気持ちを考えて」(思いやり・親切)

・第6学年道徳 中村裕司教諭 「ふるさと・玉宮」(郷土愛)

イ神金小学校 義務教育課菟原桂指導主事

・第2学年道徳 村田裕美教諭 「たいせつないのち」(生命尊重)

②研究会(午後3時～5時)

・玉宮小, 神金小の研究について実施状況と方向性確認

・実施学年の授業について意見交換

II 成果と課題

- ・県, 文科省の道徳教育の推進事業の指定校が, 塩山北中学区4校になっている。「小中連携」をメインにしているので, 指定校の研究テーマとブロック交流のテーマを同じにした。そのことで, 3回のブロック交流の研究を有意義なものにできた。
- ・研究テーマに沿って, 各校で指導案の練り上げを行い, 小学校3校, 中学校1校の4校の道徳の授業を参観し, 指導主事を招いての研究会もすることができた。
- ・道徳教育についての4校の共通理解を図るために, 夏の研究会では, 各校の研究の取り組みを話したり, 指導主事を招いて道徳教育についての学習会を行ったりした。そこで, 4校で共通に取り組んでいくことの確認ができた。また, 指導案の様式を共通にしておくことも確認された。
- ・教職員の連携を中心に行ったが, これからは教職員と児童生徒, 児童・生徒の連携を積極的に進めていきたい。
- ・小学校と中学校の児童生徒の実践活動について連携を図っていく。

III 成果物

4校で共通に取り組んでいく研究や実践活動について

1 授業研究部会

- ・9年間を見通した道徳教育の指導計画作成
- ・小中学校の重点項目(礼儀・生命尊重・郷土愛)の決定
- ・学校行事における道徳教育指導計画作成
- ・道徳授業の指導案の形式を共通化
- ・ゲストティーチャーの活用

2 実践活動部会

- ・3つの柱(礼儀, 生命尊重, 郷土愛)にそった標語作りの取り組み
- ・アルミ缶回収の取り組み

(ブロック長 青柳仁美)